

# 平成26年度 上下水道部長「政策宣言」達成状況報告

上下水道部長 山崎 武司

## ○ 平成26年度重要事業

<b>事業名</b>	<b>水道施設整備事業</b>
<b>目標</b>	布目配水場耐震化事業や西部幹線配水管延伸事業など水源施設の耐震化と幹線配水管の多重化を進め、事故災害時にも水道水を安定的に供給できるように、水道システム全体の耐震性を強化します。
<b>年度末達成状況</b>	布目配水場耐震化事業については、12月25日に竣工式を行いました。なお、この完成により、本市の浄水施設及び配水池の耐震化率は100%となりました。 西部幹線配水管延伸事業については、今年度871mを布設し、全体延長の約69%が完成しました。
<b>自己評価</b>	計画のとおり事業を進めることができました。引き続き、事故や災害に強く安定給水を実現する水道施設の整備に努めます。

<b>事業名</b>	<b>雨水対策事業</b>
<b>目標</b>	近年多発する局地的な豪雨による浸水災害から市民を守るため、海老江雨水ポンプ場整備事業や <sup>めとりがわ</sup> 娶川排水区雨水対策事業及び大門大島雨水幹線事業など浸水対策事業に工事着手し、早期完成を目指し鋭意取り組みます。
<b>年度末達成状況</b>	目標に掲げておりました大規模浸水対策事業について、工事に着手しており、早期完成に向け着実に事業を進めています。
<b>自己評価</b>	地元住民や関係機関の理解と協力により順調に工事を進めることができました。引き続き、事業の進捗に努めます。

<b>事業名</b>	<b>わかりやすい事業運営</b>
<b>目標</b>	水道ビジョンの改定及び下水道ビジョンを策定するとともに、上下水道事業の経営状況等を市報やHP等の広報媒体を通じてわかりやすく市民の皆様にお伝えします。
<b>年度末達成状況</b>	水道ビジョン及び下水道ビジョンについては、12月に策定・公表しました。今後は両ビジョンに基づき計画的に事業を進めていきます。 上下水道事業の経営状況については、決算の概要や統計資料等をHP等でわかりやすくお伝えすることに努めました。
<b>自己評価</b>	パブリックコメントで貴重な意見を伺いながら策定することができました。 広報媒体の特色を生かしながら、上下水道事業の経営状況をわかりやすく伝えるよう努めました。